

## 平成29年度 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院 財務諸表の概要

## 1 財務諸表の概要

## (1) 貸借対照表

平成30年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	82.6 億円	固定負債	68.8 億円
土地	29.6 億円	流動負債	8.9 億円
建物	48.6 億円		
流動資産	31.7 億円		
現金及び預金	24.9 億円		
計	114.3 億円	計	114.3 億円

## (2) 損益計算書

平成29年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	43.4 億円
営業収益	42.7 億円
営業外収益	0.7 億円
費用総額	48.4 億円
営業費用	45.8 億円
営業外費用	2.6 億円
当期純損失	▲ 5.0 億円
当期総損失	▲ 5.0 億円

## (3) キャッシュ・フロー計算書

平成29年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1.0 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2.6 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 0.5 億円
IV 資金増加額	▲ 2.1 億円
V 資金期首残高	7.0 億円
VI 資金期末残高	4.9 億円

## (4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	14.1 億円
(1) 損益計算書上の費用	48.4 億円
(2) 自己収入等(控除)	▲ 34.3 億円
II 機会費用	0.0 億円
III 行政サービス実施コスト	14.1 億円

※ 各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

## 2 収支の状況

### (1) 収支概要

平成29年度純損失……………▲501,655千円 → 111,659千円(対前年度差額)  
 (平成28年度純損失……………▲613,314千円)

- ・収益については、入院、外来ともに診療単価・延べ患者数の増加により、医業収益が増加したため前年度比で約3%の増加となった。
- ・費用については、給与費、材料費の支出増などにより前年度比で約1%の増加となった。
- ・収支差については、約5億円の赤字となった。

### (2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H28年度	H29年度	H29-H28	対前年度比	参 考
収益	42.0	43.4	1.4	103%	診療単価 (H28) (H29)
営業収益	41.3	42.7	1.4	103%	入院 36,286円 → 37,246円
うち入院収益	21.9	22.8	0.9	104%	外来 11,508円 → 11,625円
うち外来収益	9.7	9.9	0.2	102%	患者数 (H28) (H29)
うち運営費負担金	8.0	8.2	0.2	103%	入院 60,489人 → 61,098人
営業外収益	0.7	0.7	0.0	100%	外来 84,082人 → 85,636人
うち運営費負担金	0.6	0.6	0.0	100%	
臨時利益	0.0	0.0	0.0	-	
費用	48.1	48.4	0.3	101%	一般病床利用率 (H28) (H29)
営業費用	45.5	45.8	0.3	101%	80.5% → 81.3%
うち給与費	27.4	27.5	0.1	100%	
うち材料費	5.3	5.7	0.4	108%	
うち経費	7.8	7.6	▲ 0.2	98%	
うち減価償却費	4.9	4.8	▲ 0.1	98%	
営業外費用	2.7	2.6	▲ 0.1	96%	
うち支払利息	1.1	1.0	▲ 0.1	91%	
うち控除対象外消費税償却	1.7	1.6	▲ 0.1	94%	
臨時損失	0.0	0.0	0.0	-	
収支差	▲ 6.1	▲ 5.0	1.1	-	

※各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

### (3) 前年度比収支変動の主な要因

#### ア 営業収益

うち入院収益 (0.9億円増) 診療単価・延べ患者数の増加によるもの  
 うち外来収益 (0.2億円増) 診療単価・延べ患者数の増加によるもの

#### イ 営業費用

うち給与費 (0.1億円増) 職員の増加によるもの  
 うち材料費 (0.4億円増) 医業収益との連動によるもの  
 うち経費 (0.2億円減) 委託費、光熱水費の減少によるもの